

[005] 九州大学極低温実験室だより表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/11020>

出版情報：九州大学極低温実験室だより．5，2004-08．九州大学理学部極低温実験室
バージョン：
権利関係：



編 集 後 記

関係者一同の御協力により、九州大学極低温実験室だよりNo. 5の発行となりました。御多忙中にも関わらず原稿を執筆して頂きました皆様に深く感謝致します。

現在、九州大学理学部極低温実験室は、国立大学法人化、大学移転等に関連して激動の渦中にあります。重要な課題の一つとして液体ヘリウムの低価格化とヘリウムガスの回収率の向上が挙げられます。これらの課題は密接に関係しており、新キャンパス移転後の各建物・実験室に整備されるヘリウムガス回収配管によって一挙に解決すると期待されます。また、現有の施設では回収配管が未整備の為に液体ヘリウムを使用する研究を回避したり、ヘリウムガスの回収を行うことなく空気中へ放出するといった最悪の事態からも脱皮することもできることでしょう。特に、ヘリウムガス回収に関しては、日本では産出しておらず輸入に頼っている限られた資源である現状から考えても空気中へ放出する行為は、自然科学の研究に携わるものとして手を拱いて傍観することは堪え難いことです。

数年後に迫った九州大学移転によって、極低温実験室の健全な運営体制が構築されることを期待しています。

九州大学極低温実験室だより 第5号

2004年8月発行

発 行 者 九州大学理学部極低温実験室
発行責任者 篠 崎 文 重
編集責任者 矢 山 英 樹
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号
TEL (092) 642-2701
FAX (092) 642-2701

印 刷 所 (株)サガプリンティング
〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田909番
TEL (0952) 34-5100
FAX (0952) 34-5200